

1 本構想の目的と位置づけ

1.1 構想の目的

西部海岸地区は、「高崎山」や「柞原八幡宮」などの豊かな自然・文化に囲まれ、また、「大分マリーンパレス水族館うみたまご」や「高崎山自然動物園」をはじめ、さまざまな観光・レクリエーション施設が集積する地域資源に恵まれた地区である。

地理的には、国内有数の観光地である別府市と隣接し、また、東九州の大動脈である国道10号の沿線に位置しており、潜在的な観光資源が多い地区でもあり「大分市都市計画マスタープラン」などの関連計画においては、「観光資源や海浜を利用したレクリエーションの場を提供することにより市民が海と接し、憩える空間を創出する地区」などとして位置づけられている。

このことから、本市では、西部海岸地区の既存の観光資源と連携し誘客の促進に取り組むとともに、この地区に呼び込んだ観光客に市内中心部及び市内各地の観光スポットへ周遊してもらえるように、その情報発信などを行う拠点施設の形成が必要であると考え、西部海岸地区の魅力をさらに高め、観光客の増加などの新たな活力を呼び込むための施設形成に関する基本構想を策定することとした。

1.2 本構想の位置づけ

本構想の位置づけを以下に示す。

